

教 科	芸術科	科 目	書道Ⅱ
履修学年	3年	履修規定・週時間	1単位文理特進
教科書	教育出版	副教材	ペン字実務
<p>1. 教科・科目の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の書法を身につけ創作へと発展していく</li> <li>漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じり・篆書・隸書と幅広く練習する。楷書・草書応用編</li> <li>5つの書体を理解し、自分自身の名前を5体で書く（復習）</li> </ul>			
<p>2. 学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2年次の復習として、自分の名前を5つの書体（楷書・行書・草書・篆書・隸書）で書く。</li> <li>教科書を中心に、とくに筆使いを学ぶ意味で大事な逆筆の用法を古典の臨書をしていく。</li> <li>臨書から創作へ発展していく。自分自身の作品（扇子・短冊・色紙軸）</li> <li>一字印（作品押印用）</li> <li>日常書式など</li> </ul>			
<p>3. 学習方法</p> <p>①授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別教室になるため、移動に注して遅刻者をださない。</li> <li>用具・用材の使用法、表現方法を学ぶ</li> <li>臨書を中心に、創作へと発展させる</li> <li>自分の名前を5つの書体（楷書・行書・草書・篆書・隸書）で書く。</li> <li>自分自身の作品（扇子・短冊・色紙軸）臨書から創作へ発展していく。</li> <li>仮名の臨書から、日常書式へと発展する</li> </ul> <p>②家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>扇子・短冊・色紙の創作をするときに、いろいろな言葉の題材を準備してくることを指示 歌詞の一節、4字熟語、座右の銘など</li> </ul> <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書の鑑賞として、年間何らかの形で、展覧会場を訪問すること（藤蔭祭で、書道の展示場で芳名録に記名）</li> </ul>			
<p>4. 宿題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みと冬休みに「ペン字実務」応用編(副教材)を宿題</li> </ul>			
<p>5. その他</p> <p>書の鑑賞の紹介・・・高校生書道展(大阪市立美術館) 私学展、そのほか書に関する展覧会</p> <p>自由課題・・・他に芸術に関する、展覧会、コンサートなど参加したものをノートにスクラップしておくことを勧めている</p>			

